

To the Heart of the Unknown Trail

Naoki Ishikawa, Tomoko Konoike, Yasuhiro Morinaga

展覧会 EXHIBITION I

2015年8月28日|金|

▶▶▶▶▶ 9月23日|水・祝|

森 鴻 石
永 池 川
泰 朋 直
弘 子 樹

会場
県立自然ふれあいセンター
大山ふるさと資料館
外ヶ浜町中央公民館

*下記の期間、青森県立美術館にPRブースが設置されます。
8月1日(土) - 9月13日(日)

青森
県立
美術館
AOMORI MUSEUM OF ART

EXHIBITION I
WORKSHOPS
EXHIBITION II

みちの奥へ

青森
EARTH
2015

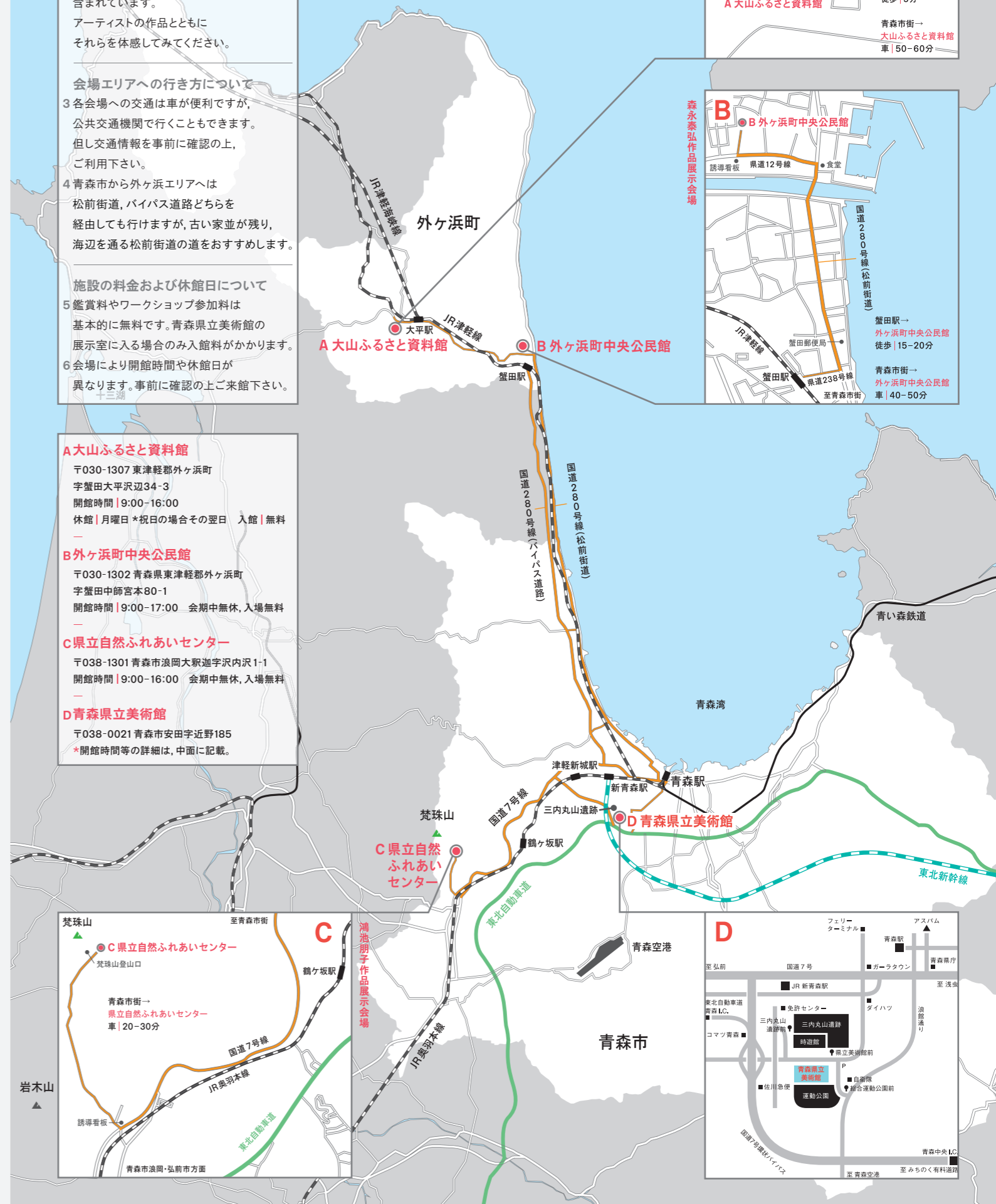
会場エリアについて
1 どの会場からでも鑑賞を始められます。
2 会場エリアには古くから
仏教信仰の盛んな梵珠山、
海の風土が色濃く残る外ヶ浜周辺など、
固有の歴史を今に色濃く伝える場所が
含まれています。
アーティストの作品とともに
それらを体感してみてください。

会場エリアへの行き方について
3 各会場への交通は車が便利ですが、
公共交通機関で行くこともできます。
但し交通情報を事前に確認の上、
ご利用下さい。
4 青森市から外ヶ浜エリアへは
松前街道、バイパス道路どちらを
経由しても行けますが、古い家並が残り、
海辺を通る松前街道の道をおすすめします。

施設の料金および休館日について
5 鑑賞料やワークショップ参加料は
基本的に無料です。青森県立美術館の
展示室に入る場合のみ入館料がかかります。
6 会場により開館時間や休館日が
異なります。事前に確認の上ご来館下さい。

- A 大山ふるさと資料館**
〒030-1307 東津軽郡外ヶ浜町
字蟹田大平沢辺34-3
開館時間 | 9:00-16:00
休館 | 月曜日 *祝日の場合その翌日 入館 | 無料
- B 外ヶ浜町中央公民館**
〒030-1302 青森県東津軽郡外ヶ浜町
字蟹田中師宮本80-1
開館時間 | 9:00-17:00 会期中無休、入場無料
- C 県立自然ふれあいセンター**
〒038-1301 青森市浪岡大釈迦字沢内沢1-1
開館時間 | 9:00-16:00 会期中無休、入場無料
- D 青森県立美術館**
〒038-0021 青森市安田字近野185
*開館時間等の詳細は、中面に記載。

みちの奥へ ROUTE MAP





石川直樹 いしかわ・なおき

写真家

1977年東京生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。

『NEW DIMENSION』(赤々舎)、『POLAR』(リトルモア)により、日本写真協会新人賞、講談社出版文化賞。『CORONA』(青土社)により土門拳賞を受賞。著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』(集英社)ほか多数。最近では、ヒマラヤの8000m峰に焦点をあてた写真集シリーズ『Lhotse』『Qomolangma』『Manaslu』『Makalu』(SLANT)を4冊連続刊行。最新刊に写真集『国東半島』『髪』(青土社)がある。

2015年1月25日-5月24日、ワタリウム美術館にて「ここより北へー石川直樹+奈良美智」展を開催。



《ARCHIPELAGO》2009



「フォトネシア沖縄写真学校」でのレクチャーの様子 | 2014



鴻池朋子 こうのいけ・ともこ

アーティスト

1960年秋田市生まれ。東京在住。

1985年東京芸術大学日本画専攻卒業後、玩具のデザインに携わり1998年より絵画、彫刻、アニメ、絵本など様々なメディアで現代の神話を表現し国内外で評価を得ている。

主な個展に2006年「第0章」大原美術館、「ストーリーテラーズ-アートが紡ぐ物語-」森美術館、2009年「インタートラベラー 神話と遊ぶ人」東京オペラシティ(霧島アートの森巡回)、2011年「獣の皮を被り 草の編み物」ギャラリーヒュンダイ(韓国)、2013年「Earthshine」ウエンディ・ノリス ギャラリー(サンフランシスコ)他多数。

主なグループ展に2008年「広州トリエンナーレ」(中国)、2009年「KAMI.Silence-Action」ドレスデン州立美術館(ドイツ)、2010年「釜山ビエンナーレ」釜山市立美術館(韓国)、他多数。東北でのプロジェクトは2012年-「東北を開く神話」(秋田県立美術館)、「美術館ロジ」(森吉山避難小屋)、2014年-「物語るテーブルランナー」(北秋田市阿仁合他)。

2015年10月個展「根源的暴力」神奈川県民ホール(神奈川)。



《シラー谷の者 野の者》2009



《12人のホイト》飯倉うめだ百貨店展示風景 | 2015



森永泰弘 もりなが・やすひろ

サウンドデザイナー / ミュージックコンクリート作曲家

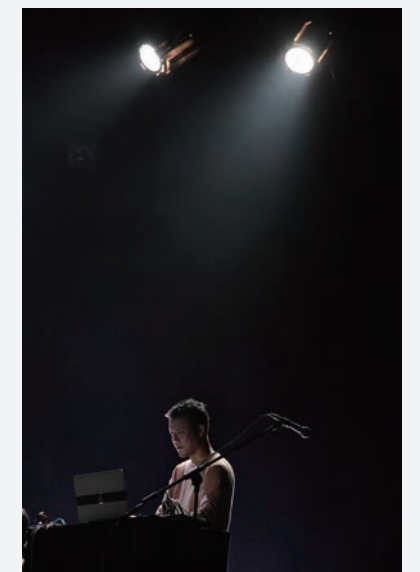
東京芸術大学院博士後期課程単位取得満期退学後、渡仏し映画理論家・作曲家のミシェル・シオンに師事。帰国後、アジアの音楽文化を中心としたフィールド・レコーディングをベースに、音楽作品の制作やサウンドデザインを行う。また、録音技術史やアジアにおける音楽文化の観点から作品をCDとして自身のレーベルconcreteより継続的にリリースしている。

主な主催/参加した事業として2014年「Uterus」(マースカニングハム舞踊団で活動していたFo ofwa Dd'Imobilité振付の作品で音楽監督を担当)、2014年「Ten Thousand Tigers」(シンガポールの美術家Ho Tzu Nyenによる作品で音楽を担当)、2014年「Anabiosis Passage」(インドネシア国立劇場GKJでの音楽祭でオープニングコンサート)、2012-2014年「《To Belong》シリーズ」(振付家である北村明子の日本とインドネシアの共同ダンス作品で音楽監督)他多数。

2015年には、シンガポールの演劇賞Life!アワードのサウンドデザイン賞にノミネートされ、アジアにおけるサウンドデザインのパイオニアとして様々なプロジェクトに参加し国内外で活動している。



雲南省で宗教職能者トパンのレコーディング



インドネシア国立劇場GKJ音楽祭にて